

ほけんだより



じりじりと焼け付くようだった夏の日差しが少しだけやわらぎ、朝夕の空の色や肌に触れる風にも、どことなく季節の移り変わりを感じるようになりました。それに合わせて子ども達の過ごし方も、夏の水遊びから戸外へのお散歩、運動会の練習といった活動へとシフトチェンジしていきます。

秋は、月が綺麗に見える時季です。今年の中秋の名月は、9月17日。「中秋の名月」とは、旧暦の8月15日の夜に見える月の事を指します。中秋の名月をめでの習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われています。ここ数年、中秋の名月と満月は同じ日でしたが、今年は9月17日が中秋の名月、翌18日が満月と日付が1日ずれています。また、今年中秋の名月の近くに土星が見えます。満月に近い月はとても明るいので、やや見づらいかもかもしれませんが、お月見の際には、土星も気に留めてみてください。

さて、お月様の模様といえば日本では《ウサギが月で餅つき》をしているように見えると言われますが、他の国では違う模様に見えるそうです。アメリカでは《ワニ・トカゲ》インドネシアでは《編み物をする女性》、オーストリアでは《男性の顔》など、国によって異なっていて面白いですね。子ども達にはどのように見えるでしょうか？ご家庭でお月見をしながら聞いてみてくださいね。



感染症情報

伝染性紅斑(りんご病)

4名



※6月頃から幼児クラスを中心にだらだらと流行が続いており、これまでに18名の感染が報告されています。伝染性紅斑(りんご病)は、微熱や鼻水といった風邪症状が出て、その1週間程度後に頬や身体に網目(レース)状の発赤が出来る病気です。子どもは、感染しても基本的に重症化する事のない病気ですが、妊娠初期に感染すると、胎盤を通して胎児にも感染し、流産や死産、胎児水腫を引き起こす恐れがあり、特に注意が必要です。

手足口病

6名

※全国的な流行は、ようやく落ち着き始めましたが、まだ感染者が例年に比べると多い状況となっています。今後の流行状況に引き続き注意して下さい。

どうしように役立てて



年齢が上がるにつれ、できるが増えていく子どもたち。同時に、思わぬケガや事故も増えていきます。あわてず対処できるように、覚えておいてくださいね。

切り傷・すり傷

傷口を洗い、清潔なタオルなどでおさえます。傷口が大きい場合や出血がおさまらないときは病院へ。

誤飲

何をどれくらい飲んだか、どんな状態かを確認します。大量の薬を飲んだ、意識がない、けいれんや嘔吐をしている場合は、受診を。

やけど

水道水で10分以上冷やします。やけどの範囲が広い、水ぶくれができていて、皮膚が黒または白くなっている場合は病院へ。



災害時の節水に大活躍!?

キッチンラップ

地 震などの災害が起こると、家庭で水道水が使えなくなることがあります。

備蓄している水は、できる限り飲料用にとっておきたいもの。でも、飲む以外にも、水が必要な機会はたくさんあります。

そんなときに活躍するのが「キッチンラップ」。アイデア次第で節水できる、便利アイテムなのです。



災害時の使い方

- ◎ 食器に敷いて食事をする
➡ 食器を洗わなくてよい
- ◎ 手に巻きつけて手袋代わりにする
➡ 手が汚れないので、手を洗わなくてよい

.....

防災グッズの中にキッチンラップも入れておくと、いざというときに役立つかも知れません。



正常性バイアスってご存知ですか?

人間は、災害が起こると言われていても、他の地域が被災しても、なぜかつい「自分は大丈夫」と思ってしまいます。これを**正常性バイアス**、あるいは**楽観主義バイアス**など呼びます。日常生活では些細なことで不安にならずに目の前のことに取り組みるので非常に役立つ仕組みなのですが、災害時には仇になることも。



災害が起こったら、正常性バイアスが働かないよう、意識して気持ちを「非常事態モード」に切り替えましょう。そして、家族や周りの人が正常性バイアスに惑わされていたら、「なにより命が大事」「早く逃げなきゃ」と声をかけてください。もしかしたら、それが命を救うことになるかもしれません。

